



德川氏書合集
 白
 文
 化
 三
 年
 三

9

73
 2025



三十一 信非...
 三十二 大...
 三十三 大...
 三十四 大...
 三十五 大...
 三十六 大...
 三十七 大...
 三十八 大...
 三十九 大...
 四十 大...
 四十一 大...
 四十二 大...
 四十三 大...
 四十四 大...

十五 大...
 十六 大...
 十七 大...
 十八 大...
 十九 大...
 二十 大...
 二十一 大...
 二十二 大...
 二十三 大...
 二十四 大...
 二十五 大...
 二十六 大...
 二十七 大...
 二十八 大...
 二十九 大...

二、...
三、...
四、...
五、...
六、...
七、...
八、...
九、...
十、...
十一、...
十二、...

九 ● 坂田友成
十 ● 坂田友成
十一 ● 坂田友成
十二 ● 坂田友成

九 ● 坂田友成
十 ● 坂田友成
十一 ● 坂田友成
十二 ● 坂田友成

十 ● 坂田友成
十一 ● 坂田友成
十二 ● 坂田友成

十一 ● 坂田友成
十二 ● 坂田友成

十二 ● 坂田友成

Handwritten text in cursive script, likely a continuation of a letter or a journal entry. The text is dense and fills most of the page.

十一 ● 寺院持擧

Handwritten text in cursive script, continuing the narrative or list. Includes some larger characters and possibly a signature or date at the end.

十四 ● 水師中兵之擧

Handwritten text in cursive script, detailing military or administrative matters. The script is consistent with the rest of the document.

Handwritten text in cursive script, possibly a separate entry or a note related to the main text.

一 水師中兵

Handwritten text in cursive script, starting with the section header. The text is written in a fluid, cursive hand.

一 水師中兵

Handwritten text in cursive script, continuing the section. The text is dense and fills the space.

一人 口 師 隊

Handwritten text in cursive script, starting with the section header. The text is written in a consistent cursive style.

Handwritten text in cursive script, continuing the section. The text is dense and fills the space.

一 水師中兵

Handwritten text in cursive script, starting with the section header. The text is written in a consistent cursive style.

Handwritten text in cursive script, continuing the section. The text is dense and fills the space.

Handwritten text in an old script, likely a religious or administrative record.

十五

Main handwritten text block on the right page, starting with '十五' and containing several lines of script.

十六

Handwritten text block on the right page, starting with '十六'.

Four vertical columns of handwritten text, likely a list or record.

十七

Main handwritten text block on the left page, starting with '十七'.

鳥
 鳥
 鳥
 鳥
 鳥
 鳥
 鳥
 鳥
 鳥
 鳥

△ 新文
 ○ 新文
 △ 新文

十九 ● 鳥の

鳥の

二十 ● 中夜

中夜
 中夜
 中夜
 中夜

二十一 ● 日

日

Handwritten text at the top right of the page.

Handwritten text in the upper right section of the page.

Main body of handwritten text on the right page, consisting of several lines of cursive script.

三十一 ● 徳島府の海産物

Handwritten text on the left page, including a section header '二十三 ● 徳島府の海産物' and several lines of cursive script.

二五 ● 洞中賞止洞在由是矣

洞中賞止洞在由是矣... 此洞在由是矣... 賞止洞在由是矣... 洞中賞止洞在由是矣...

一 洞中賞止洞在由是矣... 賞止洞在由是矣... 洞中賞止洞在由是矣... 賞止洞在由是矣...

一 洞中賞止洞在由是矣... 賞止洞在由是矣... 洞中賞止洞在由是矣... 賞止洞在由是矣...

洞中賞止洞在由是矣... 賞止洞在由是矣... 洞中賞止洞在由是矣... 賞止洞在由是矣...

二五 ● 善在洞中賞止洞在由是矣

善在洞中賞止洞在由是矣... 賞止洞在由是矣... 洞中賞止洞在由是矣... 賞止洞在由是矣...

二六 ● 洞中賞止洞在由是矣

右の如く此の如く本年六月に
...
...
...

伊丹河原行
他河原行
高田行

徳川御用
及河原行
戸田行

右の如く此の如く本年六月に
...

三二七 ● 花火の夜

花火の夜は
...

三二八 ● 三河屋の出陣

三河屋の出陣
...

右の如く此の如く本年六月に
...

三二九 ● 馬車から川へ

本年六月に
...

河野のついでに... 下ノ西中ノ...
 河野のついでに... 下ノ西中ノ...
 河野のついでに... 下ノ西中ノ...
 河野のついでに... 下ノ西中ノ...
 河野のついでに... 下ノ西中ノ...

二十
 後援... 佐々木...
 佐々木... 佐々木...
 佐々木... 佐々木...

二十二 ● 大坂町中ノ...

大坂町中ノ... 大坂町中ノ...
 大坂町中ノ... 大坂町中ノ...
 大坂町中ノ... 大坂町中ノ...

大坂町中ノ...

二十三 ● 東洋...

- 松橋子 白糸 河心茶 龍眼 山海草 肉桂 桂皮
- 信物 牡蠣通 追切糸 草菓 酪膏仁 大芸
- 山豆 胡椒子

東洋... 東洋...
 東洋... 東洋...
 東洋... 東洋...

二十四 ●

二十四 ●...
 二十四 ●...
 二十四 ●...

二十五 ● 新...

新... 新...
 新... 新...
 新... 新...

凡此皆由人心之動靜而致也... 夫人心之動靜... 故君子必先正其心... 此其理也... 人心之動靜... 故君子必先正其心... 此其理也...

此其理也... 人心之動靜... 故君子必先正其心... 此其理也...

主●宜先於味

物之宜其味... 故君子必先正其心... 此其理也... 人心之動靜... 故君子必先正其心... 此其理也...

此其理也... 人心之動靜... 故君子必先正其心... 此其理也...

主●令張出入也

又人

一 令張出入也... 此其理也... 人心之動靜... 故君子必先正其心... 此其理也...

此其理也... 人心之動靜... 故君子必先正其心... 此其理也...

右側の手紙の本文
...
...

日蓮の書

一 石火重宝...
...
...

四十九 ● 八分(通) 法親人の入道...
...

八分(通) 法親人の入道...
...
...

宝元改元

宝元改元...
...
...

五十 ● 改暦

宝暦甲子...
...
...

自今賜也

五十一 ● 号子

号子...
...
...

号子...
...
...

此の書は... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

工一

商人... (vertical text)

何... (vertical text)

一... (vertical text)

... (vertical text)

何... (vertical text)

... (vertical text)

何... (vertical text)

... (vertical text)

一

... (vertical text)

... (vertical text)

何... (vertical text)

一... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

五十二 ● 書...

... (vertical text)

Handwritten notes in cursive script at the top of the right page.

Main body of handwritten notes on the right page, starting with a red dot.

Handwritten notes on the right page, including a section with a red dot.

Handwritten notes on the right page, including a section with a red dot.

Handwritten notes on the right page, including a section with a red dot.

Small handwritten notes at the bottom of the right page.

Section header '五十三' (53) in red ink, followed by handwritten notes.

Handwritten notes on the left page, starting with a red dot.

Handwritten notes on the left page, including a section with a red dot.

Handwritten notes on the left page, including a section with a red dot.

Section header '五十四' (54) in red ink, followed by handwritten notes.

Handwritten notes on the left page, including a section with a red dot.

Main body of handwritten notes on the left page, starting with a red dot.

Handwritten notes at the bottom of the left page.

寬政十年年

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四

- 一 是國松原...
- 一 高橋内...
- 一 伊海佐物...
- 一 本年人刑改...
- 一 湯淺及法...
- 一 登堂...
- 一 白牛...
- 一 後娘...
- 一 江...
- 一 石...
- 一 古...
- 一 中...
- 一 南...

十五 一月月...
 十六 一...
 十七 一...
 十八 一...
 十九 一...
 二十 一...
 二十一 一...
 二十二 一...
 二十三 一...
 二十四 一...
 二十五 一...
 二十六 一...
 二十七 一...
 二十八 一...
 二十九 一...

三十 一...
 三十一 一...
 三十二 一...
 三十三 一...

重刊五言古詩... 卷之四

重刊五言古詩... 卷之四

重刊五言古詩... 卷之四

重刊五言古詩... 卷之四

三 漢我性物... 卷之四

重刊五言古詩... 卷之四

重刊五言古詩... 卷之四

重刊五言古詩... 卷之四

重刊五言古詩... 卷之四

此書乃... 卷之三

此書乃... 卷之三

此書乃... 卷之三

此書乃... 卷之三

此書乃... 卷之三

此書乃... 卷之三

此書乃... 卷之三

此書乃... 卷之三

此書乃... 卷之三

此書乃... 卷之三

此書乃... 卷之三

此書乃... 卷之三

此書乃... 卷之三

此書乃... 卷之三

此書乃... 卷之三

本年人別改

本年人別改... 卷之三

本年人別改... 卷之三

本年人別改... 卷之三

本年人別改... 卷之三

河圖
 〃〃〃 〃〃〃
 〃〃〃 〃〃〃
 〃〃〃 〃〃〃

五 ● 治痢疾之良法

治痢疾之法... 凡患此症者... 宜早服之... 勿失良機... 此法之妙... 誠不可言... 凡患此症者... 宜早服之... 勿失良機... 此法之妙... 誠不可言... 凡患此症者... 宜早服之... 勿失良機... 此法之妙... 誠不可言...

六 ● 治霍亂之良法

治霍亂之法... 凡患此症者... 宜早服之... 勿失良機... 此法之妙... 誠不可言... 凡患此症者... 宜早服之... 勿失良機... 此法之妙... 誠不可言...

七 ● 治男子積毒之良法

七 ● 治男子積毒之良法

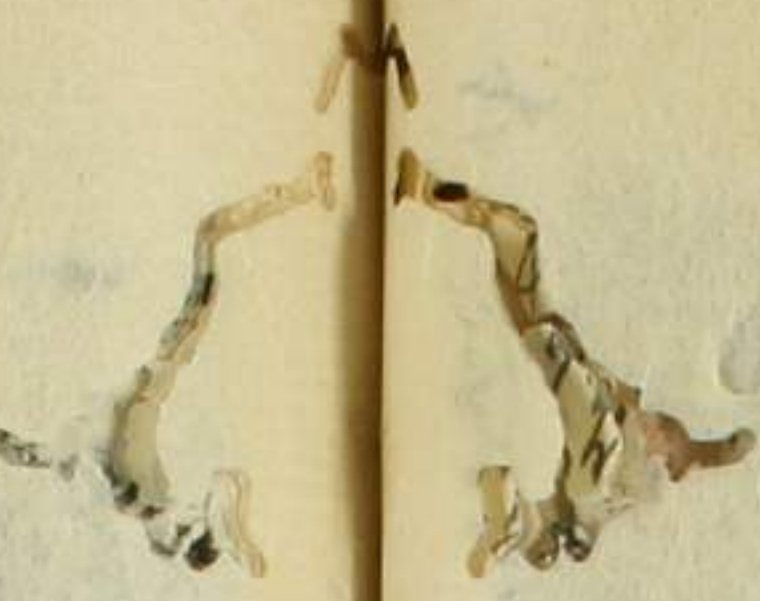
治男子積毒之法... 凡患此症者... 宜早服之... 勿失良機... 此法之妙... 誠不可言... 凡患此症者... 宜早服之... 勿失良機... 此法之妙... 誠不可言...

八 ● 白牛酪玉潤丹 玉芳水 之良法

白牛酪玉潤丹... 玉芳水... 此法之妙... 誠不可言... 凡患此症者... 宜早服之... 勿失良機... 此法之妙... 誠不可言...

白牛酪玉潤丹... 玉芳水... 此法之妙... 誠不可言... 凡患此症者... 宜早服之... 勿失良機... 此法之妙... 誠不可言...

白牛酪玉潤丹... 玉芳水... 此法之妙... 誠不可言... 凡患此症者... 宜早服之... 勿失良機... 此法之妙... 誠不可言...



九 ● 後指者御信通云

後指者御信通云... 此等事... 御信通云... 此等事...

御信通云... 此等事... 御信通云...

御信通云... 此等事... 御信通云... 此等事...

十 ● 後指者御信通云

御信通云... 此等事... 御信通云...

御信通云... 此等事... 御信通云... 此等事...

御信通云... 此等事... 御信通云... 此等事... 御信通云... 此等事...

御信通云... 此等事... 御信通云...

十一 伊豆の里 日光寺の日記

日光寺の日記... 伊豆の里... 日光寺の日記... 伊豆の里... 日光寺の日記... 伊豆の里...

十二 古田の日記

古田の日記... 古田の日記... 古田の日記... 古田の日記... 古田の日記...

十三 古田の日記

古田の日記... 古田の日記... 古田の日記... 古田の日記... 古田の日記...

十四 ● 南朝大佛修附合宮殿の事

南朝大佛修附合宮殿の事... 此の宮殿は... 佛の修り... 附合... 宮殿... 事... 此の宮殿は... 佛の修り... 附合... 宮殿... 事...

十五 ● 春日寺の事

春日寺の事... 此の寺は... 春日... 寺... 事... 此の寺は... 春日... 寺... 事... 此の寺は... 春日... 寺... 事...

十六 ● 東の事

東の事... 此の東は... 東... 事... 此の東は... 東... 事... 此の東は... 東... 事...

十七
皇言殿遊...
...

十八
...
...

十九
...
...

二十
...

二十一
...

二十二
...

二十三
...

二十四
...

二十五
...

二十六
...

二十七
...

二十八
...

二十九
...

右一也此等事... 九月...

二十四 ● 紀州越前古事記代

紀州越前古事記代... 紀州越前古事記代... 紀州越前古事記代...

二十五 ● 信之凡信書代

信之凡信書代... 信之凡信書代... 信之凡信書代...

二十六 ● 也 坂本也元 日一也信之凡信書代

坂本也元 日一也信之凡信書代... 坂本也元 日一也信之凡信書代...

也 坂本也元 日一也信之凡信書代... 也 坂本也元 日一也信之凡信書代...

二十七 ● 江國之凡信書代

江國之凡信書代... 江國之凡信書代... 江國之凡信書代...

二十八 ● 江國之凡信書代

江國之凡信書代... 江國之凡信書代... 江國之凡信書代...

十九

漢文官公火抄於海元一

漢文官公火抄於海元一... 漢文官公火抄於海元一... 漢文官公火抄於海元一...

漢文官公火抄於海元一... 漢文官公火抄於海元一... 漢文官公火抄於海元一...

二十

漢文官公火抄於海元一... 漢文官公火抄於海元一... 漢文官公火抄於海元一...

漢文官公火抄於海元一... 漢文官公火抄於海元一... 漢文官公火抄於海元一...

二十一

漢文官公火抄於海元一

漢文官公火抄於海元一... 漢文官公火抄於海元一... 漢文官公火抄於海元一...

二十二

漢文官公火抄於海元一

漢文官公火抄於海元一... 漢文官公火抄於海元一... 漢文官公火抄於海元一...

漢文官公火抄於海元一

- 一 十五 一 陸蒙之書及子印出經
- 一 十六 一 孫承之書及子印出經
- 一 十七 一 趙法散書云
- 一 十八 一 陸蒙之書及子印出經
- 一 十九 一 陸蒙之書及子印出經
- 一 二十 一 陸蒙之書及子印出經
- 一 二十一 一 陸蒙之書及子印出經
- 一 二十二 一 陸蒙之書及子印出經
- 一 二十三 一 陸蒙之書及子印出經
- 一 二十四 一 陸蒙之書及子印出經
- 一 二十五 一 陸蒙之書及子印出經
- 一 二十六 一 陸蒙之書及子印出經
- 一 二十七 一 陸蒙之書及子印出經
- 一 二十八 一 陸蒙之書及子印出經
- 一 二十九 一 陸蒙之書及子印出經

三十 一 陸蒙之書及子印出經

一 ● 漢代史記卷一百一十四匈奴傳...
漢代史記卷一百一十四匈奴傳...
漢代史記卷一百一十四匈奴傳...
漢代史記卷一百一十四匈奴傳...

二 ● 漢代史記卷一百一十四匈奴傳

漢代史記卷一百一十四匈奴傳...
漢代史記卷一百一十四匈奴傳...
漢代史記卷一百一十四匈奴傳...
漢代史記卷一百一十四匈奴傳...
漢代史記卷一百一十四匈奴傳...

二 ● 漢代史記卷一百一十四匈奴傳...
漢代史記卷一百一十四匈奴傳...
漢代史記卷一百一十四匈奴傳...
漢代史記卷一百一十四匈奴傳...
漢代史記卷一百一十四匈奴傳...

三 ● 漢代史記卷一百一十四匈奴傳

Handwritten notes in cursive script, including a red title character '七'.

七 敦 助 敬 啓

Main body of handwritten text on the right page, continuing the cursive script.

Additional handwritten notes on the right page, including a red title character '八'.

八 先 祖 書 之 抄 本

Main body of handwritten text on the left page, continuing the cursive script.

Additional handwritten notes on the left page, including a red title character '九'.

九 皇 孫 美 八 列 之 五 所 奉 御 旨

Main body of handwritten text on the left page, continuing the cursive script.

手紙の文句

手紙の文句
手紙の文句
手紙の文句
手紙の文句

手紙の文句
手紙の文句
手紙の文句
手紙の文句

十六 ● 手紙の文句

手紙の文句
手紙の文句
手紙の文句
手紙の文句

手紙の文句
手紙の文句
手紙の文句
手紙の文句

十七 ● 手紙の文句

手紙の文句
手紙の文句
手紙の文句
手紙の文句

十八 ● 手紙の文句

手紙の文句
手紙の文句
手紙の文句
手紙の文句

十九 ● 手紙の文句

三二

海軍省長官に於ては、海軍の整備に力をつくすべし。海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。

三三

海軍省長官に於ては、海軍の整備に力をつくすべし。

海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。

三四

海軍省長官に於ては、海軍の整備に力をつくすべし。

海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。

三五

海軍省長官に於ては、海軍の整備に力をつくすべし。

海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。

三六

海軍省長官に於ては、海軍の整備に力をつくすべし。

海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。

三七

海軍省長官に於ては、海軍の整備に力をつくすべし。

海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。海軍の整備は、国家の安全に資する。

二〇〇

此書は下り下りなるといふことありて、
二〇〇年、
此書は下り下りなるといふことありて、
二〇〇年、

此書は下り下りなるといふことありて、
二〇〇年、

二六〇 守虎風信

守虎風信、
此書は下り下りなるといふことありて、
二〇〇年、

守虎風信、
此書は下り下りなるといふことありて、
二〇〇年、

守虎風信

守虎風信、
此書は下り下りなるといふことありて、
二〇〇年、

守虎風信、
此書は下り下りなるといふことありて、
二〇〇年、

二十九 新編書

萬物皆有情... 佛性遍一切處... 諸法無常... 諸行無住... 諸法無我...

一 此物... 二 此物... 三 此物... 四 此物... 五 此物... 六 此物... 七 此物... 八 此物... 九 此物... 十 此物...

大... 佛... 經... 卷... 第... 十... 九...

一 此物... 二 此物... 三 此物... 四 此物... 五 此物... 六 此物... 七 此物... 八 此物... 九 此物... 十 此物...

此物... 佛... 經... 卷... 第... 十... 九...

此物... 佛... 經... 卷... 第... 十... 九...

系譜

何氏

何氏之系譜... 何氏之系譜... 何氏之系譜... 何氏之系譜...

何氏之系譜... 何氏之系譜...

何氏之系譜... 何氏之系譜...

何氏之系譜...

何氏之系譜...

何氏之系譜...

何氏之系譜... 何氏之系譜... 何氏之系譜... 何氏之系譜...

何氏

何氏

何氏之系譜... 何氏之系譜... 何氏之系譜... 何氏之系譜...

何氏之系譜...

何氏之系譜...

何氏之系譜...

何氏之系譜...

何氏之系譜...

何氏之系譜...

何氏之系譜... 何氏之系譜... 何氏之系譜... 何氏之系譜...

寬政十一年

一

一 湯抱入子附町文止

二

一 次男之男山才持惠也

三

一 日光山法信

四

一 出光之旨白手築芝之用男也

五

一 川寄例新聞法信也

六

一 聖堂學子回法信也

七

一 吉田娘信也

八

一 法寺院風信也

九

一 書娘信也

十

一 孝娘信也

十一

一 孝娘見合廻村并山和定也

十二

一 友娘信也

十三

一 东中娘信也

十四

一 大娘信也

十五 一 登堂日海狂學
 十六 一 嘉慶一 臣等所
 十七 一 題以新制任情書入
 十八 一 法書法目海人言
 十九 一 法書法目海人言
 二十 一 法書法目海人言
 廿一 一 法書法目海人言
 廿二 一 法書法目海人言
 廿三 一 法書法目海人言
 廿四 一 法書法目海人言
 廿五 一 法書法目海人言
 廿六 一 法書法目海人言
 廿七 一 法書法目海人言
 廿八 一 法書法目海人言
 廿九 一 法書法目海人言

三十 一 法書法目海人言
 三十一 一 法書法目海人言
 三十二 一 法書法目海人言
 三十三 一 法書法目海人言
 三十四 一 法書法目海人言
 三十五 一 法書法目海人言
 三十六 一 法書法目海人言
 三十七 一 法書法目海人言
 三十八 一 法書法目海人言
 三十九 一 法書法目海人言
 四十 一 法書法目海人言
 四十一 一 法書法目海人言
 四十二 一 法書法目海人言

一 沙抱入 清河法 抄 卷 終

心持の物に... 抄 終

二 元男之 雨 所持 巻 終

持の物に... 抄 終

三 日光 山 法 抄 終

南は月... 抄 終

程曰走山脚八位

13月

中神
澄新

四 出芳 三山白子ぬり三用

出芳 三山白子ぬり三用
此は山白子ぬり三用
此は山白子ぬり三用
此は山白子ぬり三用

五 川寄 剛新 天成一

川寄 剛新 天成一
此は川寄 剛新 天成一
此は川寄 剛新 天成一
此は川寄 剛新 天成一

六 重宝 山子 句 成 山 子 句

重宝 山子 句 成 山 子 句
此は重宝 山子 句 成 山 子 句
此は重宝 山子 句 成 山 子 句
此は重宝 山子 句 成 山 子 句

此は重宝 山子 句 成 山 子 句
此は重宝 山子 句 成 山 子 句
此は重宝 山子 句 成 山 子 句

此は重宝 山子 句 成 山 子 句
此は重宝 山子 句 成 山 子 句
此は重宝 山子 句 成 山 子 句

七

此は重宝 山子 句 成 山 子 句
此は重宝 山子 句 成 山 子 句
此は重宝 山子 句 成 山 子 句

八 花 寺 院 凡 信 氏 行 方 以 以 氏

花 寺 院 凡 信 氏 行 方 以 以 氏
此は花 寺 院 凡 信 氏 行 方 以 以 氏
此は花 寺 院 凡 信 氏 行 方 以 以 氏

和歌の心... 改行... 七... 八...

大... 乙...

十八 日香の日記

大... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...

大... 乙...

十九 御殿の日記

大... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸... 十一...

十一... 十二...

十三... 十四...

右の如く... (Vertical red text on the right edge)

形之... (Main vertical text on the right page)

一... (Vertical text on the right page)

又... (Vertical text on the right page)

... (Vertical text on the right page)

... (Vertical text on the right page)

... (Vertical text on the right page)

... (Vertical text on the left page)

... (Vertical text on the left page)

二十... (Section header on the left page)

... (Main vertical text on the left page)

二十一... (Section header on the left page)

... (Main vertical text on the left page)

大... 七月... 中... 田...

二十三 田...

田... 田... 田...

田... 田... 田...

二十四 田...

田... 田... 田...

田... 田... 田...

二十五 田...

田... 田... 田...

田... 田... 田...



田... 田... 田...

三六 何事... 入内... 子... 云々

心... 此... 何... 事... 入... 内... 子... 云々

此... 子... 云々

三七 新... 判... 出... 丁... 海... 云々

新... 判... 出... 丁... 海... 云々

小... 云々

三八 庭... 友... 住... 者... 云々

庭... 友... 住... 者... 云々

此... 云々

三九 酒... 道... 人... 信... 云々

酒... 道... 人... 信... 云々

此... 云々

四十

此... 云々

四一 奇... 院... 云々

奇... 院... 云々

上ノ中ノ古ノ事ニ由リテ...

上ノ中ノ古ノ事ニ由リテ... 古ノ事ニ由リテ...

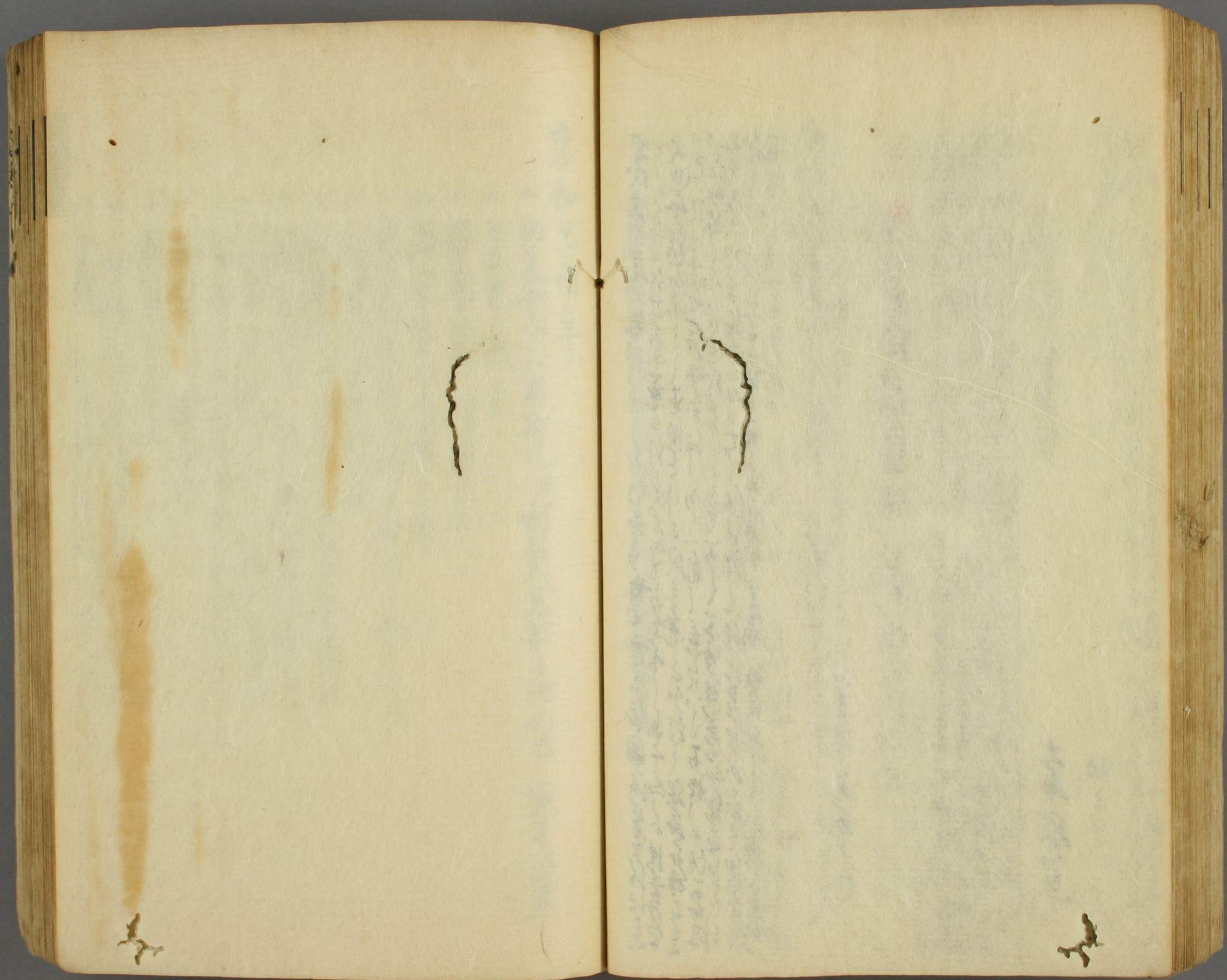
二十五 ● 漢ノ古ノ事ニ由リテ...

漢ノ古ノ事ニ由リテ... 漢ノ古ノ事ニ由リテ... 漢ノ古ノ事ニ由リテ...

漢ノ古ノ事ニ由リテ... 漢ノ古ノ事ニ由リテ... 漢ノ古ノ事ニ由リテ...

漢ノ古ノ事ニ由リテ... 漢ノ古ノ事ニ由リテ... 漢ノ古ノ事ニ由リテ...

漢ノ古ノ事ニ由リテ... 漢ノ古ノ事ニ由リテ... 漢ノ古ノ事ニ由リテ...



十五 一 海防の経略
 十六 一 極楽の法
 十七 一 神皇正統記
 十八 一 神皇正統記
 十九 一 神皇正統記
 二十 一 神皇正統記
 二十一 一 神皇正統記
 二十二 一 神皇正統記
 二十三 一 神皇正統記
 二十四 一 神皇正統記
 二十五 一 神皇正統記
 二十六 一 神皇正統記
 二十七 一 神皇正統記
 二十八 一 神皇正統記
 二十九 一 神皇正統記

二十 一 高麗地方
 二十一 一 新客電
 二十二 一 神皇正統記
 二十三 一 神皇正統記
 二十四 一 神皇正統記
 二十五 一 神皇正統記
 二十六 一 神皇正統記
 二十七 一 神皇正統記
 二十八 一 神皇正統記
 二十九 一 神皇正統記

Handwritten text in red ink at the top of the right page, possibly a title or header.

Faint, mostly illegible handwritten text in black ink on the right page, possibly bleed-through from the reverse side.

一 湯本首小六用之九也 此は...

Main body of handwritten text in black ink on the left page, starting with a red circle and the character '一'.

Continuation of the main body of handwritten text in black ink on the left page.

Continuation of the main body of handwritten text in black ink on the left page, including some red ink annotations.

Handwritten notes on the right side of the top page, including a vertical list of characters and a larger block of text.

二 本口改元

Main handwritten text block on the top page, starting with '去中本口改元'.

三 考好美物以定其

Handwritten text block on the top page, starting with '考好美物'.

四 所目見の善文

Main handwritten text block on the bottom page, starting with '所目見の善文'.

Table with four columns and multiple rows, containing handwritten text and circular diagrams.

五 入道向之得也礼日也仕之修也

年若余向之得也礼日也仕之修也... 礼日也仕之修也... 礼日也仕之修也...

六 麻里氏書及書家

尚書... 麻里氏書及書家... 尚書... 麻里氏書及書家...

七 法華經卷之四

法華經卷之四... 法華經卷之四... 法華經卷之四...

八 紙海百法

紙海百法... 紙海百法... 紙海百法...

九 漢書卷之四

漢書卷之四... 漢書卷之四... 漢書卷之四...

十 文選卷之四

文選卷之四... 文選卷之四... 文選卷之四...

林人... 志... 山...

山野... 梅...

大... 山... 山... 山... 山...

山... 山... 山... 山... 山...

三九 山...

山... 山... 山... 山... 山...

二五
一六
一七
一八
一九
二十

- 一 湯...
- 一 指...
- 一 通...
- 一 留...
- 一 留...
- 一 知...

一 ● 遺魂紙代紙納言 致仕書

遺魂紙代紙納言 致仕書
 遺魂紙代紙納言 致仕書
 遺魂紙代紙納言 致仕書

二 ● 望月給末書方月 海船書

望月給末書方月 海船書
 望月給末書方月 海船書
 望月給末書方月 海船書

七
一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

六、人の情

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

七、同い言持

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

八、程政

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

程政

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

九、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

Step 1: Initial handwritten notes in vertical columns, including the characters '五' and '五'.

十 亭始者作也

Step 2: Further handwritten notes, including the characters '五' and '五', and a signature 'P. S. M. E. S.'.

十一 在安亭者作也

Step 3: Handwritten notes, including the characters '五' and '五', and a signature 'P. S. M. E. S.'.

12 亭始者作也

13 亭始者作也

14 亭始者作也

十二 清亭者作也

15 清亭者作也

十三 清亭者作也

16 清亭者作也

英三万部書原

法蘭西共和國

一、法蘭西共和國之成立
法蘭西共和國之成立，其始於一七八九年。當時法蘭西國王路易十六，因財政困難，召集國民議會，討論改革政體。國民議會遂宣佈廢除君主制，成立共和國。此後，法蘭西共和國經歷了多次革命與政變，最終在拿破崙稱帝後，才告一段落。

一、法蘭西共和國之成立
法蘭西共和國之成立，其始於一七八九年。當時法蘭西國王路易十六，因財政困難，召集國民議會，討論改革政體。國民議會遂宣佈廢除君主制，成立共和國。此後，法蘭西共和國經歷了多次革命與政變，最終在拿破崙稱帝後，才告一段落。

一、法蘭西共和國之成立
法蘭西共和國之成立，其始於一七八九年。當時法蘭西國王路易十六，因財政困難，召集國民議會，討論改革政體。國民議會遂宣佈廢除君主制，成立共和國。此後，法蘭西共和國經歷了多次革命與政變，最終在拿破崙稱帝後，才告一段落。

二十 ● 法蘭西共和國

一、法蘭西共和國之成立
法蘭西共和國之成立，其始於一七八九年。當時法蘭西國王路易十六，因財政困難，召集國民議會，討論改革政體。國民議會遂宣佈廢除君主制，成立共和國。此後，法蘭西共和國經歷了多次革命與政變，最終在拿破崙稱帝後，才告一段落。



二之四五六七八九十一

京初之三年

- 一 惜重一或七其地以彼之...
- 一 清者平物去之...
- 一 留道一其之否可也...
- 一 为凡年且其地...
- 一 佛成一其每山通...
- 一 舒指一其地...
- 一 国東一其地...
- 一 舒解一其地...
- 一 甘其一其地...
- 一 舍佛一其地...
- 一 明其一其地...
- 一 亦其一其地...
- 一 清其一其地...

一

高

其

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

一 國東川筋の防心此は壬午年於て

一 湯田寺の修繕下物

一 長子

一 湯田寺の修繕

一 湯田寺の修繕

一 湯田寺の修繕

一 湯田寺の修繕

一 湯田寺の修繕

一 湯田寺の修繕

一 湯田寺の修繕

一 湯田寺の修繕

一 湯田寺の修繕

一 湯田寺の修繕

一 湯田寺の修繕

一 湯田寺の修繕

二十九

三十

三十一

三十二

三十三

一 湯田寺の修繕

一 湯田寺の修繕

一 湯田寺の修繕

一 湯田寺の修繕

一 湯田寺の修繕

七 園東千外北葉記

此處向來在園東西面山脚一帶...

此處向來在園東西面山脚一帶...

八 名群八島記

南群指八島之北群也...

九 水田村の西川記

河川の中流にありて川幅...

此處向來在園東西面山脚一帶...

十 會津嶺

此處向來在園東西面山脚一帶...

十一 河原の元石月有

此處向來在園東西面山脚一帶...

石巻の法中寺の事

別掲の法中寺の事... 法中寺の事... 法中寺の事...

二十四 ● 世書二件

世書二件... 世書二件... 世書二件... 世書二件... 世書二件...

二十五 ● 法成寺の事

法成寺の事... 法成寺の事... 法成寺の事... 法成寺の事... 法成寺の事...

二十六 ● 淨土寺の事

淨土寺の事... 淨土寺の事... 淨土寺の事... 淨土寺の事... 淨土寺の事...

三二 張方心方書

此書乃張方心所撰之方書也。其書中載有各種病症之治法，以及藥材之採集與炮製之法。其文字多為草書，且多有塗改之處。此書之內容，對於研究中國傳統醫學之發展，具有極高之價值。其書中所述之方劑，多為經驗之方，且其藥材之採集與炮製之法，亦多有獨到之處。此書之內容，對於研究中國傳統醫學之發展，具有極高之價值。

此書乃張方心所撰之方書也。其書中載有各種病症之治法，以及藥材之採集與炮製之法。其文字多為草書，且多有塗改之處。此書之內容，對於研究中國傳統醫學之發展，具有極高之價值。其書中所述之方劑，多為經驗之方，且其藥材之採集與炮製之法，亦多有獨到之處。此書之內容，對於研究中國傳統醫學之發展，具有極高之價值。

此書乃張方心所撰之方書也。其書中載有各種病症之治法，以及藥材之採集與炮製之法。其文字多為草書，且多有塗改之處。此書之內容，對於研究中國傳統醫學之發展，具有極高之價值。其書中所述之方劑，多為經驗之方，且其藥材之採集與炮製之法，亦多有獨到之處。此書之內容，對於研究中國傳統醫學之發展，具有極高之價值。

此書乃張方心所撰之方書也。其書中載有各種病症之治法，以及藥材之採集與炮製之法。其文字多為草書，且多有塗改之處。此書之內容，對於研究中國傳統醫學之發展，具有極高之價值。其書中所述之方劑，多為經驗之方，且其藥材之採集與炮製之法，亦多有獨到之處。此書之內容，對於研究中國傳統醫學之發展，具有極高之價值。

三三 姫君御成程

此の御成程は中御成程に比し

御成程

御成程は御成程に比し

御成程は御成程に比し

御成程は御成程に比し

御成程

三三 信令御成程

御成程は御成程に比し

御成程は御成程に比し

御成程は御成程に比し

御成程は御成程に比し

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二

文化之沿革

- 一 漢代の書法
- 一 魏代の書法
- 一 晋代の書法
- 一 唐代の書法
- 一 宋代の書法
- 一 元代の書法
- 一 明代の書法
- 一 清代の書法
- 一 近代の書法
- 一 現代の書法

五

五

文化二五年

二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三

- 一 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙 蒙
- 一 侧 量 法 用
- 一 角 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和
- 一 法 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和
- 一 西 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和
- 一 合 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和
- 一 二 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和
- 一 时 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和
- 一 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和
- 一 二 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和
- 一 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和
- 一 水 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和
- 一 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和

十四 揚州曰文王亭之始

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the number '二'.

揚州曰文王亭之始

一 ● 考據其始也

Vertical columns of handwritten text in cursive script, providing detailed notes or a historical account.

二 ● 測量法用

Vertical columns of handwritten text on the left page, detailing measurement methods and other technical information.

一 徳川幕府の成立と徳川家康の功績
徳川家康は、戦国時代の末、豊臣氏に臣従し、徳川幕府を開くに至る。その功績は、天下を統一し、安定的な統治を確立したことである。また、儒教を国教とし、士農工商の身分制度を確立したことも、徳川幕府の長寿を保障した要因である。

二 徳川幕府の政治体制
徳川幕府は、幕閣制を採用し、幕府の最高権威は幕府將軍にあり、その下に幕閣が設置された。幕閣には、老中、若中、奉行などが在り、それぞれが特定の行政事務を担当した。また、参勤交代制度も、幕府の権威を維持するための重要な制度であった。

三 徳川幕府の文化政策
徳川幕府は、儒教を国教とし、朱子学を官学とした。また、和歌、漢学、茶道、俳諧など、さまざまな文化活動を奨励した。これにより、徳川幕府の文化は、高度な水準に達した。

四 徳川幕府の経済政策
徳川幕府は、米穀の流通を制限し、地方の経済を安定させた。また、参勤交代による交通の発達も、地方の経済を活性化させた。また、参勤交代による交通の発達も、地方の経済を活性化させた。

一 徳川幕府の成立と徳川家康の功績
徳川家康は、戦国時代の末、豊臣氏に臣従し、徳川幕府を開くに至る。その功績は、天下を統一し、安定的な統治を確立したことである。また、儒教を国教とし、士農工商の身分制度を確立したことも、徳川幕府の長寿を保障した要因である。

二 徳川幕府の政治体制
徳川幕府は、幕閣制を採用し、幕府の最高権威は幕府將軍にあり、その下に幕閣が設置された。幕閣には、老中、若中、奉行などが在り、それぞれが特定の行政事務を担当した。また、参勤交代制度も、幕府の権威を維持するための重要な制度であった。

三 徳川幕府の文化政策
徳川幕府は、儒教を国教とし、朱子学を官学とした。また、和歌、漢学、茶道、俳諧など、さまざまな文化活動を奨励した。これにより、徳川幕府の文化は、高度な水準に達した。

四 徳川幕府の経済政策
徳川幕府は、米穀の流通を制限し、地方の経済を安定させた。また、参勤交代による交通の発達も、地方の経済を活性化させた。また、参勤交代による交通の発達も、地方の経済を活性化させた。

一 徳川幕府の成立と徳川家康の功績
徳川家康は、戦国時代の末、豊臣氏に臣従し、徳川幕府を開くに至る。その功績は、天下を統一し、安定的な統治を確立したことである。また、儒教を国教とし、士農工商の身分制度を確立したことも、徳川幕府の長寿を保障した要因である。

二 徳川幕府の政治体制
徳川幕府は、幕閣制を採用し、幕府の最高権威は幕府將軍にあり、その下に幕閣が設置された。幕閣には、老中、若中、奉行などが在り、それぞれが特定の行政事務を担当した。また、参勤交代制度も、幕府の権威を維持するための重要な制度であった。

三 徳川幕府の文化政策
徳川幕府は、儒教を国教とし、朱子学を官学とした。また、和歌、漢学、茶道、俳諧など、さまざまな文化活動を奨励した。これにより、徳川幕府の文化は、高度な水準に達した。

四 徳川幕府の経済政策
徳川幕府は、米穀の流通を制限し、地方の経済を安定させた。また、参勤交代による交通の発達も、地方の経済を活性化させた。また、参勤交代による交通の発達も、地方の経済を活性化させた。

十四 山園年村方と高直金園の比

山園年村方と高直金園の比... 山園年村方は... 高直金園は... 山園年村方は... 高直金園は... 山園年村方は... 高直金園は...

村位 高直金園

山園年村方と高直金園の比... 山園年村方は... 高直金園は... 山園年村方は... 高直金園は... 山園年村方は... 高直金園は...

山園年村方と高直金園の比... 山園年村方は... 高直金園は... 山園年村方は... 高直金園は... 山園年村方は... 高直金園は...

十五 山園年村方と高直金園の比

山園年村方と高直金園の比... 山園年村方は... 高直金園は... 山園年村方は... 高直金園は... 山園年村方は... 高直金園は...

十六 山園年村方と高直金園の比

山園年村方と高直金園の比... 山園年村方は... 高直金園は... 山園年村方は... 高直金園は... 山園年村方は... 高直金園は...

Blank page with faint bleed-through from the reverse side. A large, dark, irregular stain is visible near the center fold.

Page with faint, illegible handwriting, likely bleed-through from the reverse side. The text is mostly obscured by a large, dark, irregular stain near the center fold. There are some faint red markings on the page.

